

1. 会 員 数

	平成 19 年 3 月 31 日	平成 20 年 3 月 31 日
	5,326 名	4,962 名
会 員	正会員 4,988 名 (内 入会数 334 名)	正会員 4,633 名 (内 入会数 380 名)
	団 体 338 団体	団 体 329 団体
賛助会員	16 社	16 社

2. 事 業

1) 日本小児保健学会の開催

第 54 回日本小児保健学会は、群馬大学大学院医学系研究科生体防御学機構小児生体防御学分野 森川昭廣教授を会頭のもと、平成 19 年 9 月 20 日（木）・21 日（金）・22 日（土）の 3 日間、「社会が子どもにもっとできること」をテーマとして、群馬県民会館（群馬県前橋市）において開催された。参加者数は、1,270 名であった。

2) 役員会等の開催

全国理事会 3 回、支部長会 2 回、常任理事会 4 回、評議員会 1 回、代議員会 1 回、合同委員会 1 回、編集委員会 6 回、予防接種・感染症委員会 3 回、発育委員会 1 回、小児救急の社会的サポートに関する委員会 1 回、新生児委員会 1 回、学校保健委員会 1 回、栄養委員会 1 回、小児医療委員会（チャイルドシート検討委員会 1 回・事故予防検討会 1 回）2 回、乳幼児健診システム委員会 5 回、健やか親子 21 推進協議会第 4 課題 1 回を、平成 19 年度に開催し本協会の事業遂行上必要な案件を協議、決定し運営した。

3) 機関誌等の刊行

雑誌「小児保健研究」を 6 冊（第 66 巻 3 号～第 67 巻 2 号）刊行した。

また、小児保健シリーズとしては、No.61「乳幼児期の食育～食育の観点から子育て支援を考える～」を刊行した。

4) 小児保健セミナーの開催

第 24 回小児保健セミナー「乳幼児期の食育～食育の観点から子育て支援を考える～」を、平成 19 年 6 月 10 日（日）文京シビックホールにおいて開催し、参加者は 169 名であった。

5) 協会活動

①編集委員会、予防接種・感染症委員会、発育委員会、小児救急の社会的サポートに関する委員会、新生児委員会、学校保健委員会、栄養委員会、小児医療委員会（チャイルドシート検討委員会・事故予防委員会）、乳幼児健診システム委員会、平成 22 年度幼児健康度調査委員会、健やか親子 21 協議会第 4 課題のそれぞれが本協会の目的のために活動した。

（小児保健研究：第 67 巻 2 号 P.414～P.415 合同委員会記録参照）

②平成 19 年度小児保健協会活動助成が下記の通り決定し、第 54 回日本小児保健学会総会時に表彰式を行った。

《研究助成》

○ 池田 友美・他（兵庫大学・他）

『肢体不自由養護学校における看護師と養護教諭の職務に関する調査』

《実践活動助成》

○ 福岡県小児保健研究会 松本 壽通（松本小児科医院）

『福岡地区小児保健研究会』

《発達臨床研究賞》

○ 大岡 貴史・他（昭和大学歯学部口腔衛生学教室）

『幼児期における箸を用いた食べ方の発達過程～手指の微細運動発達と食物捕捉時の箸の動きについての縦断観察～』

（小児保健研究第 65 巻 4 号掲載）

③新潟県中越沖地震に義援金を拠出した。

3. 平成 19 年度総会

平成 19 年度総会は、平成 19 年 9 月 21 日（金）、群馬県民会館（第 54 回日本小児保健学会）において出席社員総数 171 名うち委任状 120 通を加え、社員の過半数に達したことを確認した上、議長に村上睦美先生を選出し、議事録署名人に飛田正俊・山中龍宏両社員を指名し開催され、下記の各議案が承認された。

- 1) 平成 18 年度事業報告・収支決算報告・監査報告およびその承認
- 2) 平成 19 年度事業実施報告
- 3) 平成 20 年度事業計画案（自 平成 20 年 4 月 1 日～ 至 平成 21 年 3 月 31 日）
- 4) 平成 20 年度収支予算案
- 5) 新役員等について
- 6) 名誉会員の推薦

(I) 平成 20 年度事業計画 (案)

1) 日本小児保健学会の開催

第 55 回日本小児保健学会は、札幌医科大学医学部小児科学教室 堤 裕幸教授を会頭として、平成 20 年 9 月 25 日 (木)・26 日 (金)・27 日 (土) の 3 日間、札幌コンベンションセンター (北海道札幌市) を会場として開催される。テーマ「家族、学校、社会の絆を太くする」

2) 機関誌等の刊行

「小児保健研究」を年内に 6 冊刊行する。また、小児保健シリーズを 1 冊以上刊行し、支部活動に役立てる。

3) 講演会等の開催

支部と共同して、母子保健指導研修会を含む研究会・講演会等を開催する。

4) 教育普及の拡充

協会の事業として教育普及の拡充につとめる。

第 25 回小児保健セミナーは、平成 20 年 6 月 15 日 (日)「思春期をめぐる諸問題」をテーマに開催する。会場未定。

5) 協会活動の充実

小児保健協会活動助成 (研究助成・実践活動助成・発達臨床研究賞) の授賞者の決定および表彰を行う。

本協会の目的に役立つ事業の実施につとめる。

(II) 平成 20 年度収支予算案が承認された。

4. 平成 19 年度収支決算報告

P. ~

5. 監査報告

平成 20 年 4 月 10 日に、青木継稔・山口規容子両監事により監査を受けた。

6. 新役員について

P. ~

7. 平成 19 年度名誉会員

東 京 前川 喜平
広 島 清水 凡生
長 崎 辻 芳郎

8. 人事について

支部長交代	(地区)	(旧)	(新)
	愛媛	小谷 信行	石井 榮一
(平成 20 年度～)	北海道	藤枝 憲二	有賀 正

9. 訃報

滋賀	評議員	伊藤 正利	
東京	名誉会員	神前 章雄	
三重	名誉会員	井澤 道	平成 19 年 12 月 1 日
東京	名誉会員	内藤壽七郎	平成 19 年 12 月 12 日

10. 支部活動

全国 47 支部が活動を続けている。また、各地における小児保健研究会、母子保健指導研修会の共催・後援、「こどもの健康週間」（日本小児科学会主催）の後援および参加をはじめとし、各種関連事業を後援している。

11. 第 56 回以降の日本小児保健学会会頭について

- 1) 第 56 回（平成 21 年）日本小児保健学会会頭
大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座小児科学
教授 大藪 恵一
- 2) 第 57 回（平成 22 年）日本小児保健学会会頭
新潟大学医学部小児科
教授 内山 聖

12. その他

- ①日本小児科学会・日本小児保健協会・日本小児科医会共催「第 2 回子どもの食育を考えるフォーラム—子どもの食を守るのはだれ?—」を、平成 20 年 1 月 26 日（土）に、品川 The Grand Hall において開催した。
- ②日本小児科連絡協議会「子どもをタバコの害から守る」合同委員会を 4 回開催し、シンボルマーク「子どもは歩く禁煙マーク」を作成した。
- ③日本小児科連絡協議会 6 回、合同委員会 小児保健法推進委員会 4 回、自動車乗車中の子どもの安全推進合同委員会 2 回、子どもとメディア委員会 1 回、開催した。

※引き続き目的に沿った活動を行う。

